

2. 中央ビジネスの存在目的

中央ビジネスは、保険の普及・拡大を通して広く世の中のためになること、と同時に、中央ビジネスで働く人を幸せにすることが、中央ビジネスの存在意義であり存在価値であると思っています。それは、お客さまの「満足」を獲得し、永続的に成長し続ける過程で、社会的責任を果たすことにもなります。私たちは様々な利害関係者（ステークホルダー）からの信頼を得て存続・発展します。そのために私たちは、誠実かつ倫理的な活動を行います。

中央ビジネスの「存在目的」を実現するための基本方針

1)利益

利益のために会社があるのではありません。社会的な役割を果たすため、お客さまが幸せになるため、社員が幸せになるために会社は存在します。しかし、事業をもっと良くしていくため、お客さまにもっと役に立つために、会社は利益を生まなければなりません。利益が出なければ、企業活動を継続することができないからです。利益の蓄積は、社会に貢献することや、お客さま、社員を幸せにするための原資であり、高い価値を提供した対価です。

「利益」は、継続して社会の役に立つため、「関わる人々を幸せにする」という目的実現のための条件です。

2)社長と社員の役割と責任

社長の役割とは、会社の進むべき方向を決めることです。そして、決めた方向に向かって、社員一人ひとりが活躍できる環境を作ることです。それに対して社員の役割は、会社の進むべき方向を理解し、その実現のために学び、変化と試行錯誤を繰り返すことです。

社長の責任とは、社員を大切にすることです。社長が「社員を幸せにする会社づくり」に本気で取り組み、社員が「お客さまを幸せにする商品・サービス」の提供に本気で取り組むのです。社長が社員満足に責任を持ち、社員はお客さま満足に責任を持つ。CSとESは経営者と社員がそれぞれの役割と責任を全うすることで両立するのです。